

平成27年度 水防法改正の概要

水防法の改正の概要＜平成27年5月13日成立、5月20日公布＞

背景

近年、現在の堤防等の施設計画を超える浸水被害が多発



H26.8避難所2階の浸水
(徳島県)



H25.8梅田駅周辺の浸水
(大阪市)



改正の概要

○ 現行の洪水に係る浸水想定区域について、想定し得る最大規模の洪水に係る区域に拡充して公表
(現行は、河川整備において基本となる降雨を前提とした区域)



河川整備において基本となる降雨を前提



想定し得る最大規模の洪水に係る浸水想定区域

＜改訂により公表する情報＞

	改訂前	改訂後	備考
浸水想定区域図	計画規模降雨	想定最大規模降雨	計画規模降雨(省令)
浸水継続時間		想定最大規模降雨	
ハザードマップ	計画規模降雨	想定最大規模降雨	
参考(その1)			河岸侵食による家屋倒壊
参考(その2)			氾濫流による家屋倒壊
河川管理者公表: 赤文字		市町村公表 : 青文字	

水害対応の考え方(想定し得る最大規模降雨への対応)

これまで 堤防等を設計する規模の降雨しか想定していない

現況の堤防等の能力の規模

堤防等設計の計画の規模

吉井川、旭川、高梁川流域で
150年に1回程度降る大雨を対象

大雨等の規模

命と財産を守るための
施設整備

今後 想定し得る最大規模の降雨で、命を守ることをための検討を実施！！

現況の堤防等の能力の規模

堤防等設計の計画の規模

想定し得る最大規模

吉井川、旭川、高梁川流域で
150年に1回程度降る大雨を対象

過去に瀬戸内地区で降った
最大の大雨

大雨等の規模

命と財産を守るための
施設整備

命を守ることを最重要課題と
して取り組む

命を守ること(避難行動)を優先とするため、
被害が最大となるよう、計算条件を設定

・ハード整備は時間がかかり、今後起こりうる災害への早期対応が困難